



日本シティズンシップ教育フォーラム  
2023 年度 事業報告書

(2023.01.01～2023.12.31)

住所：兵庫県尼崎市次屋 1 丁目 2 番 20 号ハイツアメニティ II-203 号室

mail : [info@jcef.jp](mailto:info@jcef.jp) web : <http://jcef.jp>

## 目次

1. 2023 年度事業のハイライト	2
2. 2023 年度事業実施体制	2
3. 事業報告	
(1) ネットワーキングの場の創出	6
(2) 現場の関係者を応援するメディアの制作	13
(3) 実践を広範に推進する社会環境の創造	13
4. 会計報告	別添資料参照

## 設立趣意書

人々の価値観が多様化した現代社会においては、市民が熟議を重ねながら、一人ひとりの問題意識に立脚した「望ましい未来像」に向けて、地域や社会の変革と創造の過程に参画していくことが重要です。市民参加の領域が今後一層広がっていく中、このような社会デザインの担い手を育てるシティズンシップ教育の社会的関心も高まってきています。既に日本各地では、幅広い世代に対して多様な形態によるシティズンシップ教育の実践と研究、政策形成が展開されていっています。こうした様々な場での取り組みが交流を通じて、現場に根ざした実践知を生成し、社会全体で幅広く活用されていくことが必要となっています。この現状を踏まえて、日本シティズンシップ教育フォーラムは、シティズンシップ教育に関係する人々がネットワーキングを進め、現場の関係者を応援しながら、実践を推進しやすい環境づくりを展開し、シティズンシップ教育の進展を図っていきます。更に、以上の活動を通じて、日本社会が能動的な市民の参加を地域や社会を創造するエネルギーに変えていく民主主義の成熟化に寄与していきます

## 1. 2023 年度事業のハイライト

- (1) 「第 10 回シティズンシップ教育ミーティング」は「シティズンシップ教育の新章を拓く」をテーマに 2019 年以来の対面開催。日本全国から 57 名の方々が参加。
- (2) 「シティズンシップ教育研究大会 2023」をオンライン開催。日本全国から 107 名の方々が申し込み。報告は 41 本のエントリー。
- (3) 定例の勉強会「J-CEF スタディ・スタジオ」はオンラインで 6 回開催。
- (4) 設立 10 周年記念としてロゴマークの改訂、ウェブサイトのリニューアルを実施。

## 2. 2023 年度事業実施体制

J-CEFでは2022年度の総会において大規模な組織改編が行われ、事業ごとに設けられるプロジェクトチームを中心とした運営に切り替わった。2023年度は以下の体制でプロジェクトチームごとに会議がもたれて事業が推進された。

## 【第 10 回シティズンシップ教育ミーティング実行委員会】

市川享子（東海大学健康学部准教授）  
岡本愛香（北海道大学大学院教育学研究院博士課程）  
川中大輔（龍谷大学社会学部准教授／シチズンシップ共育企画代表）〈委員長〉  
黒崎洋介（神奈川県立瀬谷西高等学校教諭）  
土肥潤也（NPO 法人わかものまちなち代表理事）  
藤枝 聡（立教大学国際センター・日本語教育センター）  
古野香織（認定 NPO 法人カタリバ）  
別木萌果（都立小川高等学校教諭）

## 【第 11 回シティズンシップ教育ミーティング実行委員会】

岡本愛香（北海道大学大学院教育学研究院博士課程）  
角野仁美（NPO 法人みらいず works 理事）  
川中大輔（龍谷大学社会学部准教授／シチズンシップ共育企画代表）  
黒崎洋介（国立教育政策研究所）  
土肥潤也（NPO 法人わかものまちなち代表理事）  
原田伊織（NPO 法人 ASK 理事）  
藤枝 聡（立教大学国際センター・日本語教育センター）  
古野香織（認定 NPO 法人カタリバ）  
別木萌果（都立小川高等学校教諭）  
堀本麻由子（東洋大学文学部准教授）〈委員長〉  
本田晃寛（神奈川県立横浜旭陵高等学校教諭）  
宮崎一徳（みんなの政策研究所）

## 【シティズンシップ教育研究大会 2023 実行委員会】

市川享子（東海大学健康学部准教授）  
井上昌善（愛媛大学教育学部准教授）〈委員長〉  
川口広美（広島大学大学院人間社会科学研究科准教授）  
川中大輔（龍谷大学社会学部准教授）  
北山夕華（大阪大学大学院人間科学研究科教授）  
斉藤仁一郎（東海大学ティーチングクオリフィケーションセンター講師）〈副委員長〉  
陳思聡（九州大学人間環境研究院准教授）  
橋崎頼子（奈良教育大学教育学部教授）  
古田雄一（筑波大学人間系助教）  
両角達平（日本福祉大学社会福祉学部専任講師）  
若槻 健（関西大学文学部教授）

<シンポジウム企画委員会>

北山夕華（大阪大学大学院人間科学研究科教授）〈委員長〉

橋崎頼子（奈良教育大学教育学部准教授）

陳思聡（九州大学人間環境研究院准教授）

若槻 健（関西大学文学部教授）

【J-CEF スタディ・スタジオ運営チーム】

伊藤真琴（お茶の水女子大学文教育学部）

岡本愛香（北海道大学大学院教育学研究院博士課程）

小田切瑞生（山梨県立高校教諭）

斉藤仁一朗（東海大学ティーチングクオリフィケーションセンター講師）

玉井慎也（広島大学大学院人間社会科学研究科博士課程後期）

野瀬 輝（広島大学大学院人間社会科学研究科博士課程前期）

浜田未貴（社会人）

古野香織（認定 NPO 法人カタリバ）

別木萌果（都立小川高等学校教諭）

【出版企画検討チーム】

川口広美（広島大学大学院人間社会科学研究科准教授）

川中大輔（龍谷大学社会学部准教授）

北山夕華（大阪大学大学院人間科学研究科教授）

斉藤仁一朗（東海大学ティーチングクオリフィケーションセンター講師）

古田雄一（筑波大学人間系助教）〈座長〉

【マネジメントチーム】

川口広美（広島大学大学院人間社会科学研究科准教授）

川中大輔（シチズンシップ共育企画代表）〈事務局〉

黒崎洋介（国立教育政策研究所）

北山夕華（大阪大学大学院人間科学研究科教授）

斉藤仁一朗（東海大学ティーチングクオリフィケーションセンター講師）

古田雄一（筑波大学人間系助教）

古野香織（認定 NPO 法人カタリバ）

【監事】

市川享子（東海大学健康学部准教授）

西野偉彦（松下政経塾政経研究所主任／慶應義塾大学SFC研究所上席所員）

### 3. 事業報告

#### (1) ネットワーキングの場の創出

- 「第 10 回シチズンシップ教育ミーティング」を開催

J-CEFでは、シティズンシップ教育に携わる様々な方々の交流や意見交換、また広くシティズンシップ教育に関心のある方々との結びつきの機会を作ることを目的として、「第10回シティズンシップ教育ミーティング」を開催しました。



#### 【開催概要】

○日時：2023年3月4日（土）13時～3月5日（日）15時30分

○場所：龍谷大学 深草学舎 和顔館

○参加者：57名（登壇者を除く）

○テーマ：「シティズンシップ教育の新章を拓く」

○プログラムおよびゲスト・コーディネーター（所属は当時）

#### ▼オープニング

〈設立10周年記念メッセージ〉

小玉重夫さん（東京大学大学院教育学研究科教授）

川口広美さん（広島大学大学院人間社会科学研究科准教授）

古田雄一さん（筑波大学人間系助教）

#### ▼セッション1「私にとってシティズンシップ教育とは？」

〈ファシリテーター〉

岡本愛香さん（北海道大学大学院教育学研究科修士課程）

土肥潤也さん（NPO法人わかものまちな事務所長）

#### ▼セッション2「新時代の私らしい参画をつくりだす」

〈パネリスト〉

伊藤和真さん（株式会社PoliPoli代表）

奥村仁美さん（NPO法人子どもアドボカシーセンターOSAKA代表理事）

黒崎洋介さん（神奈川県立瀬谷西高等学校教諭）

若狭健作さん（株式会社地域環境計画研究所代表）

〈コメンテーター〉

市川享子さん（東海大学健康学部講師）

〈コーディネーター〉

別木萌果（都立小川高等学校教諭）

古野香織（認定NPO法人カタリバ）

### ▼セッション3「これからのシティズンシップ教育のチャレンジは？」

〈ファシリテーター〉

土肥潤也さん（NPO 法人わかものまちな事務所長）

岡本愛香さん（北海道大学大学院教育学研究院修士課程）

〈コメンテーター〉

斉藤仁一朗（東海大学ティーチングクオリフィケーションセンター講師）

### ▼セッション4「若者の視点からの社会デザインに学ぶ」

〈企画提供〉

高校生ソーシャルデザインスクール & サポーターズ

### ▼クロージング

〈クロージングメッセージ〉

水山光春さん（京都橋大学発達教育学部教授）

北山夕華さん（大阪大学大学院人間科学研究科准教授）

## ■「シティズンシップ教育研究大会 2023」を開催

J-CEF では、「シティズンシップ教育」というキーワードのもと、各々の問題関心や取り組んでいる研究を持ち寄りながら、学問領域の垣根を越えた知見交流を通じて、これまでの自らの研究のあり方を振り返り、今後のシティズンシップ教育研究のありようを共に考えることを目的として、「シティズンシップ教育研究大会 2023」を開催しました。



#### 【開催概要】

- 日時：2023年10月1日（日）10時～17時30分（アフタートーク 18時30分まで）
- 場所：オンライン
- 参加者：107名（ゲスト・コーディネーター・司会者を除く）
- プログラムおよびゲスト・コーディネーター（所属は当時）

### ▼シンポジウム

- ・テーマ：『葛藤』を浮かび上がらせるシティズンシップ教育
- ・登壇者：菊地かおり（筑波大学）

「シティズンシップ」をめぐる葛藤：イングランドの政策論議にみる論点  
 渋谷 恵（明治学院大学）

「特権」概念から考えるシティズンシップ：大学授業での気づきを中心に  
森田次朗（中京大学）

「市民になる」とはいかなることか：フリースクールの活動からみたシティズンシップ教育を  
めぐる包摂と排除の葛藤

- ・コーディネーター：北山夕華さん（大阪大学）  
橋崎頼子さん（奈良教育大学）

## ▼自由研究発表セッション

### [第 1-1 分科会]

司会：齊藤仁一郎さん（東海大学）

副司会：小玉重夫さん（東京大学）

- (1)授業中の教師による雑談の可能性 —教師と生徒の支え合いによって生まれるエージェンシー—  
遠藤梢子さん（東京学芸大学附属高等学校生徒）
- (2)シティズンシップ教育を研究する研究室文化の形成と批判的継承 —北海道教育大学釧路校・社会科  
教育学ゼミの正統的周辺参加を事例に—  
玉井慎也さん（北海道教育大学）・佐々島忠佳（北海道教育大学釧路校学生）
- (3)ジャック・ランシエールにおける〈教えること〉の再考—『無知な教師』から『解放された観客』へ—  
赤嶺洋道さん（東京大学大学院）

### [第 1-2 分科会]

司会：古野香織さん（認定 NPO 法人カタリバ）

副司会：長沼 豊さん（大日向中学校）

- (1)教育の場における心理的安全性—エージェンシーを発揮することができる環境のために—  
七島海希さん（学校法人角川ドワンゴ学園 S 高等学校生徒）
- (2)市民性教育を妨げる要因についての一考察—「世間論」を軸にして—  
辻 幸二郎さん（兵庫教育大学大学院）
- (3)校則改正プロセスにおける子ども参加の展開と課題—市民性形成の視点から—  
小林勇樹さん（長野県教育委員会事務局北信教育事務所）

### [第 1-3 分科会]

司会：川口広美さん（広島大学）

副司会：福井 駿さん（鹿児島大学）

- (1)「合意形成」や同一化を目的とした政治教育の批判的検討 —ジャック・ランシエールの「政治」と  
「政治主体」概念を手掛かりに—

小林遼也さん（東京大学大学院）

- (2)「ふつう」という概念に関する哲学対話を通じた市民性教育プログラム開発—リップマンの「子どものための哲学」を手がかりにして—

松原 心さん（岡山大学大学院）

- (3)日中間の対話型シティズンシップ教育を考える—普遍主義・相対主義を超えて—

森山 新さん（お茶の水女子大学）

#### [第 1-4 分科会]

司会：両角達平さん（日本福祉大学）

副司会：川中大輔さん（龍谷大学）

- (1)困窮学生が学業を継続するために必要な支援—静岡県立大学学生助けたんじャーの活動から見えてきたこと—

鋤柄美奈さん（静岡県立大学学生助けたんじャー）

- (2)ユニバーサル・アプローチを展開するユースセンターの有用性—中高校生の変容に焦点をあてて—

光岡歩美さん（岡山大学大学院）

- (3)「子どもアドボカシー」の必要性—独立アドボケイトの経験に着目して—

河南真衣さん（大阪大学大学院）

#### [第 1-5 分科会]

司会：井上昌善さん（愛媛大学）

副司会：福田喜彦さん（兵庫教育大学）

- (1)主権国家の枠組みから国際社会を捉えさせる小学校社会科単元開発研究—海洋ごみ問題に対するシミュレーション活動を通して—

筒井 佑さん（岡山大学大学院）

- (2)持続可能な水産業の実現を目指す小学校社会科学習—第 5 学年の単元開発を通して—

柚山由紀野さん（愛媛大学学生）

- (3)音楽を通して市民性教育における自主的思想形成に関する研究—音楽を取り上げた単元開発の可能性の検討を取り上げて—

角南葵乃助さん（岡山大学大学院）

#### [第 1-6 分科会]

司会：橋崎頼子さん（奈良教育大学）

副司会：水山光春さん（京都橘大学）

- (1)オーストラリアの多文化共生を目指した教育の実態と特質

永田なつきさん（岡山大学大学院）



- (2)公民科における「差別」と「平等」を取り上げた授業の開発—平等権をテーマとした多文化教育プログラムの開発を通して—  
清川美空さん（岡山大学大学院）
- (3)外国人散在地域における多文化教育—地域性に着目する意義の考察—  
新田康平さん（大阪大学大学院）

## [第 1-7 分科会]

司会：唐木清志さん（筑波大学）

副司会：古田雄一さん（筑波大学）

- (1)Z 世代の政治関心を高めるには—同世代の私が提案する新たな政治教育—  
坂田 栞さん（東京大学教育学部附属中等教育学校生徒）
- (2)グローバル・シティズンシップの育成をめざしたサービスラーニング・カリキュラムの研究—大学の例を通して—  
劉 馨羽さん（岡山大学大学院）
- (3)アメリカ・マサチューセッツ州における市民性教育改革と市民性育成の戦略—進学とキャリアの準備状態へのシヴィック・レディネス追加に着目して—  
松原信喜さん（広島大学大学院）

## [第 2-1 分科会]

司会：陳 思聡さん（九州大学）

副司会：若槻 健さん（関西大学）

- (1)学校での集団葛藤におけるベトナム移民の児童生徒とそれに影響を与える要因—日本公立学校におけるベトナム人第 1.5 世代の児童生徒の学校参加に関する 研究を通して—  
Dao Ngoc My Linh さん（大阪大学大学院）
- (2)中学校夜間学級における外国にルーツをもつ生徒に向けた社会科教育の実践—公民的資質をどう育てるか?—  
宗形香名さん（墨田区立文花中学校）
- (3)社会的責任感の育成を目指したシティズンシップ教育プログラムの開発—「ウクライナ避難民の受け入れ」を題材として—  
蔣 馨瑶さん（岡山大学大学院）

## [第 2-2 分科会]

司会：両角達平さん（日本福祉大学）

副司会：市川享子さん（東海大学）

- (1)地方における若者活躍社会の構築—日本の若者会議の分析と下関若者会議の提案—

四ヶ所壮汰さん（株式会社山口フィナンシャルグループ）

(2)地域を変える主権者教育—岡山県立新見高等学校の陳情活動を一例に—

岩淵 泰さん（岡山大学地域総合研究センター）

(3)子ども基本法による、児童の権利に関する条約の位置づけの上書きの必要性

宮崎一徳さん（法政大学現代法研究所）

#### [第 2-3 分科会]

司会：井上昌善さん（愛媛大学）

副司会：星 瑞希さん（北海道教育大学）

(1)シティズンシップ教育から考える開かれた古代地中海世界史研究—高大連携と市民協働型の歴史実践に注目して—

丸小野壮太さん（常磐大学高等学校）・佐藤育子さん（日本女子大学）

(2)中学生に「憲法」をどう教えるか—歴史と公民の接続を意識して—

阿部哲也さん（江東区立深川第五中学校）

(3)歴史正義の実現をめざす歴史単元構成原理—TC2 による“What Can I Contribute to Meaningful Reconciliation?”の場合—

村上遙大さん（広島大学大学院）

#### [第 2-4 分科会]

司会：桑原敏典さん（岡山大学）

副司会：川口広美さん（広島大学）

(1)学校教育における「多文化共生」に関わる教員研修の評価—2023 年度実施の教員研修プログラムを事例として—

坂口（山田）有芸さん（摂南大学）・坂口真康（兵庫教育大学）

山田文乃（立命館大学・兵庫教育 大学連合大学院）

(2)日中の大学生の世界市民資質に関する研究

富 舒欣さん（九州大学大学院）

(3)非母語話者日本語教師の指導観に関する調査研究—グローバル市民育成を中心に—

李 依水さん（岡山大学大学院）

#### [第 2-5 分科会]

司会：齊藤仁一朗さん（東海大学）

副司会：古田雄一さん（筑波大学）

(1)戦後初期文部省の生徒会論における「公民」観の特質—米国の E.K.フレッツェルにおける生徒会論との対比から—

相庭貴行さん（筑波大学大学院）

(2)戦前公民科における「社会教育」の取扱いとその変容

釜本健司さん（新潟大学）

(3)全国生活指導研究協議会における「子どもの声」を聴く実践の展開とその特徴—2014 年 第 56 回  
大会以降に焦点を当てて—

鈴木草宮駒さん（名古屋大学大学院）

#### [第 2-6 分科会]

司会：今度珠美さん（メディア教育研究室）

副司会：川中大輔さん（龍谷大学）

(1)アメリカの社会・文化的状況に即した DC 教育の理論と実践の解明—ISTE が提案する DC の 9 要素からみた教材分析—

瀬川正義さん（北海道教育大学）

(2) ICT ツールの活用による議論の深まりとシティズンシップ向上に関する研究

富永 静さん（東北大学大学院）

(3)AI・Singularity・web3.0 とシティズンシップ—AI 化による新しい「訓練された無能」とシティズンシップ教育—

長岡素彦さん（一般社団法人地域連携プラットフォーム）

#### [第 2-7 分科会]

司会：北山夕華さん（大阪大学）

副司会：池谷美衣子さん（東海大学）

(1)中国における女子大学院生割合上昇の背景にあるジェンダーとシティズンシップ課題

呉 可菲さん（九州大学大学院）

(2)からだ・性に関するインフォーマル学習の研究—ミニコミ誌『女から女たちへ』に着目して—

川上優貴さん（東洋大学大学院）

#### ■J-CEF スタディ・スタヂオの開催

シティズンシップ教育に係る報告発表やプログラム実験、合評等を通じた相互研鑽の場を定期的に設けることを目的として、「J-CEF スタディ・スタヂオ」を開催しました。

##### 〈Online スタヂオ〉

・vol.19 (1/28)「災害復興支援の現場から「市民」を問い直す：NGO での市民ソーシャルワーカー育成の取組みに焦点を当てて」（話題提供者：弓削恵則さん／国際 NGO 特定非営利活動法人オペレーション・ブレッシング・ジャパン）

・vol.20 (2/11)「子ども・教師のジェンダーと社会科はどのように関係している？—中学生調査の結果・

参加者の体験をもとに考えようー」(話題提供者:子どもの社会科学習意識とジェンダー研究会, 別木萌果さん/東京都立小川高等学校、吉田純太郎さん/広島大学大学院)

- ・ vol.21 (2/26) 『『ちがさきこども選挙』の展開ー市民の取組の実績の共有と活用の検討ー』(話題提供者:宮崎一徳さん、池田一彦さん/Cの辺り・株式会社 be、池田美砂子さん/Cの辺り・株式会社 be)
- ・ vol.22 (5/14) 「幼児期からの市民育成～子育て・幼児教育～」(話題提供者:横張寿希さん/特定非営利活動法人 DAKKO)
- ・ vol.23 (7/30) 「”こども・若者の声を聞く”とはどういうことか?～こども家庭庁・学校現場の動きを再検討する～」(話題提供者:両角達平さん/日本福祉大学)
- ・ vol.24 (11/5) 「大人のアクティブ・シティズンシップ教育を考えるーDEARのALEプロジェクトを事例としてー」(話題提供者:近藤牧子さん/認定NPO法人開発教育協会(DEAR))

## (2) 現場の関係者を応援するメディアの制作

### ■Webサイトを更新継続

本フォーラムの社会発信及び情報公開のためにウェブサイト、Facebook ページ (催事案内・開催報告およびコミュニティの運営)、X (旧 Twitter) を更新継続しています。2023 年度は設立 10 周年の節目に際してロゴマークを改訂し、ウェブサイトを全面リニューアルしました。

○URL: <http://jcef.jp>

### ■新たな出版物に関する企画検討

設立 10 周年の記念事業として新たな出版物を発行するため、出版企画検討チームにおいて出版社とも調整の上で内容構成を確定させて執筆依頼を行いました。2024 年に発行を予定しています。

## (3) 実践を広範に推進する社会環境の創造

### ■若者の社会発信の機会提供

「シティズンシップ教育ミーティング」や「シティズンシップ教育研究大会」、「J-CEF スタディ・スタディオ」の企画を通じて、社会の変革と創造をめざす実践や探究に取り組む高校生・大学生等、若者の社会発信機会や交流機会を提供しました。

## 4. 会計報告

別添資料参照

以上